

Plat' Home

株主ならびに投資家の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。第17期第2四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）の中間報告書をお届けするにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益が減少し設備投資が衰え、景気は弱まりました。先行きについては、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機の深刻化により、景気の後退懸念が一層増しております。

当社の主要な販売品目である国内サーバ市場においては、出荷金額及び出荷台数について一部に回復傾向を示す動きが見られましたが、上記の景気動向を受け、今後は厳しい状況が続くものと考えられます。

このような環境において、当社は、自社製品に注力する営業方針のもと活動を行い、当第2四半期累計期間における売上高は1,050百万円（前年同期比14百万円・1.4%増加）と前年同期に比べ増加したのに加え、利益率の高いサービス・その他の増加により売上総利益率が向上し、売上総利益も増加しました。販売費及び一般管理費は、一般的に抑制努力を継続し前年同期並となりました。この結果、営業損失は139百万円（前年同期は営業損失177百万円）、経常損失は137百万円（前年同期は経常損失170百万円）となりました。また、当社創業者である取締役会長本多弘男の逝去に伴う生命保険契約の受取保険金55百万円及び株主総会承認を条件に支給予定の役員弔慰金55百万円を特別利益及び特別損失に計上し、四半期純損失は142百万円（前年同期は四半期純損失172百万円）となりました。

今後も当社は、マイクロサーバをはじめとする自社製品の販売を拡大する営業方針を継続し、法人営業の強化を重点的に行ってまいります。

株主ならびに投資家の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成20年12月吉日 ぷらっとホーム株式会社

代表取締役社長 鈴木友康

第17期 中間報告書

平成20年4月1日から
平成20年9月30日まで

ぷらっとホーム株式会社

株主メモ

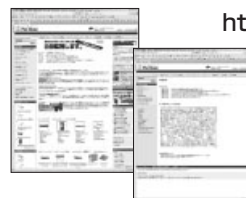
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月中
同 基準日 3月31日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都江東区東砂七丁目10番11号
0120-232-711（通話料無料）
同 取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
（下記ご注意ください）

【株式に関するお手続き用紙のご請求について】
株式に関するお手続き用紙（届出住所等の変更届等）のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。
0120-244-479（通話料無料）
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

公告方法 電子公告 <http://www.plathome.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

（ご注意）株主名簿管理人の「取次所」の定めについて
株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

Web Information



<http://www.plathome.co.jp/>

当社のホームページでは、
企業情報や財務情報を積極的
に揭示しております。
ぜひアクセスして下さい。

 **Plat' Home**
ぷらっとホーム株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-18-13
秋葉原ダイビル9階
TEL: 03-3251-6111 FAX: 03-3255-9506

会社概要 （平成20年9月30日現在）

商号 ぷらっとホーム株式会社
事業所 本社 東京都千代田区外神田1-18-13
秋葉原ダイビル9階
TEL: 03-3251-6111 FAX: 03-3255-9506
URL: <http://www.plathome.co.jp/>
東京ロジスティクスセンター
東京都大田区平和島6-1-1
東京流通センター B棟 6F

設立 平成5年3月23日
資本金 24億1,470万円
従業員数 55名
事業内容 コンピュータ及び周辺機器の開発・製造・販売及びサービス等

役員 （平成20年9月30日現在）

代表取締役社長 鈴木 友康 常勤監査役 栗原 彰
取締役 居村 勝衛 監査役 中條 嘉則
取締役 河南 邦男 監査役 松山 昌司

株式の状況 （平成20年9月30日現在）

- 発行可能株式総数 36,000株
- 発行済株式の総数 13,588株
- 株主数 925名
- 大株主

株主名	持株数	出資比率
鈴木 友康	2,990株	22.0%
本多 弘男	2,800株	20.6%
村口 和孝	630株	4.6%
KDDI(株)	500株	3.7%
飯田 佳宏	341株	2.5%
穂田 誉輝	221株	1.6%
野村證券(株)	139株	1.0%
山口 修一	125株	0.9%
三菱UFJ信託銀行(株)	118株	0.9%
風見 節夫	116株	0.9%

（注）1. 当社は、自己株式906株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 本多弘男氏は、平成20年6月6日に逝去しましたが、現在相続協議中のため株主名簿上の名義で記載しております。



TOPICS

マイクロサーバシリーズ NACなどの用途で売上堅調

■ マイクロサーバシリーズの売上が堅調に推移

発売以来の累計販売台数が40,000台を超え、様々な分野で多くのユーザーから高い評価を受ける小型Linuxサーバ「マイクロサーバシリーズ」が、堅調な売上を示しています。

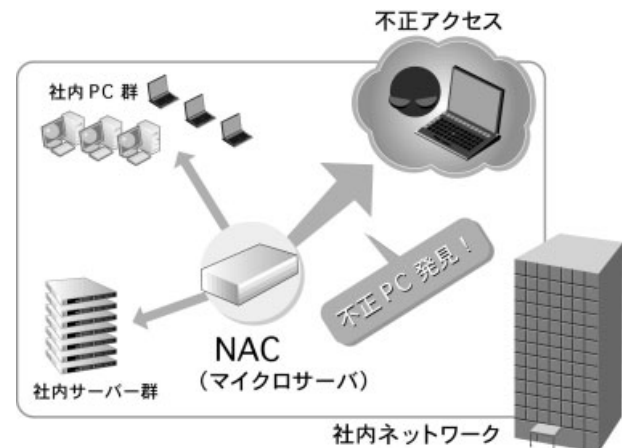


マイクロサーバシリーズは、常に技術者の目線を失うことなくビジネスを見つめてきた当社が、経験と実績に裏打ちされた開発思想のもと生み出した、手のひらサイズの小型サーバです。置き場所を問わないサイズにも関わらず、他社製品とは一線を画す堅牢性、高信頼性、柔軟性を実現しており、企業のITインフラやサービスを支えるアプライアンスサーバ（単機能サーバ）のベースハードウェアに最適です。

■ 堅牢な仕様でNAC用途に顕著な納入実績

マイクロサーバは、とくにNAC（ネットワーク・アクセス・コントロール）用途において大きな納入実績を上げています。

NACはネットワークに不正なアクセスや接続がないかを監視・分析するといった機能を持ち、企業が扱う様々なネットワークにおいて不可欠な役割を担っています。NACは24時間365日休まず稼働し続ける必要があるため、メンテナンスフリーでサービスの継続が可能なマイクロサーバシリーズが選ばれています。



財務諸表

● 四半期貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

	当第2四半期末 (平成20年9月30日)	前期末 (平成20年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	3,629,929	3,760,388
現金及び預金	3,108,083	3,192,254
売掛金	365,247	414,384
たな卸資産	75,766	110,036
その他	81,380	44,333
貸倒引当金	△ 548	△ 621
固定資産	377,606	400,478
投資その他の資産	377,606	400,478
資産合計	4,007,536	4,160,866
(負債の部)		
流動負債	427,691	428,052
買掛金	242,909	320,260
賞与引当金	19,515	19,789
その他	165,266	88,002
固定負債	13,111	14,898
退職給付引当金	13,111	11,741
その他	—	3,157
負債合計	440,802	442,951
(純資産の部)		
株主資本	3,571,135	3,713,315
資本金	2,414,700	2,414,700
資本剰余金	5,566,781	5,566,781
利益剰余金	△ 4,252,016	△ 4,109,836
自己株式	△ 158,329	△ 158,329
評価・換算差額等	△ 4,401	4,600
純資産合計	3,566,733	3,717,915
負債純資産合計	4,007,536	4,160,866

当報告書の表記について

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されたことにより、表記内容が変更されていますが、当報告書では株主様の利便性を考慮し、以下のとおり記載しています。

- 収益関連数値については、期首からの「累計値」を用いています。
- 当四半期の財務情報と前年同期の財務情報とでは会計基準や用語表現などが異なりますが、前年同期と比較しやすいよう参考値として併記しています。

● 四半期損益計算書（要旨）

（単位：千円）

	当第2四半期 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	1,050,015
売上原価	740,344
売上総利益	309,670
販売費及び一般管理費	449,209
営業損失	139,538
営業外収益	6,490
営業外費用	4,719
経常損失	137,768
特別利益	55,073
特別損失	57,379
税引前四半期純損失	140,074
法人税等	2,105
四半期純損失	142,179

● 四半期キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

	当第2四半期 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 86,393
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,190
現金及び現金同等物に係る換算差額	31
現金及び現金同等物の減少額	84,170
現金及び現金同等物の期首残高	2,192,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,108,083

● [ご参考] 四半期損益計算書（要旨）

（単位：千円）

	前第2四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
売上高	1,035,129
売上原価	760,164
売上総利益	274,965
販売費及び一般管理費	452,727
営業損失	177,762
営業外収益	7,593
営業外費用	196
経常損失	170,365
特別利益	309
特別損失	39
税引前四半期純損失	170,096
法人税等	2,105
四半期純損失	172,201

● [ご参考] 四半期キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

	前第2四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 295,360
投資活動によるキャッシュ・フロー	538
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 29
現金及び現金同等物の減少額	294,851
現金及び現金同等物の期首残高	2,615,068
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,320,217

※ 財務諸表の数値は、千円未満切捨てで表示しております。